

## の教育セミナー

#### 新学習指導要領と大学入学共通テスト

令和7年度以降の入試に向けた、授業の組み立て方と評価について~

2022年実施 8.10 ② ~31 ② オンライン 参加無料

※敬称略



#### 平野 博紀

#### 文部科学省

文部科学省 高等教育局 大学振興課 大学入試室 室長

テーマ:大学入学共通テスト

2002年早稲田大学政治経済学部卒業、2010年政策研究大学院大学修士課程修了。2002年文部科学省入

省。高知県教育委員会生涯学習課長、高等教育局国立大学法人支援課課 長補佐、スポーツ庁競技スポーツ課課長補佐、高等教育局大学振興課大

学改革推進室長、総合教育政策局 教育人材政策課教員免許企画室長 を経て、2022年4月より高等教育 局大学振興課大学入試室長。



## 文部科学省

message 大学入学者選抜改革の最新の動向を、「大学入学共通テスト」「令和5年度大学入学者選抜」「令和7年度大学入学者選抜に係る予告」の大きく3つの観点からご説明します。共通テストについては、本年1月に実施された令和4年度大学入学共通テストの実施概要をはじめ、問題作成の基本的な考え方などについてもご紹介します。続けて、6月に通知した「令和5年度大学入学者選抜実施要項」の内容を中心に、新型コロナウイルス感染症対策や不正防止対策、安全対策など、令和5年度大学入試のポイントについて解説します。さらに、新学習指導要領に対応して実施される令和7年度以降の大学入試に関しても、個別学力検査と共通テスト、両方の観点から変更点についてお伝えします。



#### 矢幅 清司

文部科学省

文部科学省 初等中等教育局 視学官

テーマ: 新学習指導要領





#### 山本 崇雄

英語

横浜創英中学・高等学校 校長補佐、 新渡戸文化学園ラーニングディレクター他

複数の学校、企業と雇用契約を結んでいる二刀流 (複業) 教師。都立中高一貫教育校を経て、2019年より横浜創 英中学高等学校 (今年度より校長補佐)、新渡戸文化中

学校・高等学校、浜松開誠館中学高等学校の他、日本パブリックリレーションズ学会理事長、GRASグループ、News Picksなど複数の団体・企業でも活動。Apple Distinguished Educator、LEGO® SERIOUS PLAY®メソッドと教材活用トレーニング終了認定ファシリテータ。「教えない授業」と呼ばれる自律型学習者を育てる授業を実践。教育改革や子どもの自律などをテーマにした講演会、出前授業、執筆活動を精力的に行っている。検定教科書『NEW CROWN ENGLISH SERIES』『My Way』(三省堂)の編集委員を務めるほか、著書に新刊『「学びのミライ地図」の描き方』(学陽書房)『なぜ「教えない授業」が学力を伸ばすのか』(日経BP社)、『「教えない授業」の始め方』(アルク)、『学校に頼らなければ学力は伸びる』(産業能率大学出版部)ほか、監修書に『21マスで基礎が身につく英語ドリル タテ×ヨコ』シリーズ(アルク)がある。

message 令和4年度に高校に入学する生徒から、新しい学習指導要領により学ぶことになります。したがって「令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストは、新学習指導要領に対応した試験となります」と大学入試センターのサイトにあります。「また入試が変わるのか」と嘆く声も聞こえてきます。共通テストだけでなく、各大学の入試問題も変化していくでしょう。もはや教師側で全ての大学の入試問題を研究し、全ての対策を授業でしていくことは不可能です。新しい入試に対応した授業、というより、どんな入試の変化にも「自分で」対応できる生徒の育成についてお話ししていきます。



#### 土屋 進一

英語

西武学園文理高等学校 教諭

埼玉・西武学園文理中学高等学校教諭。20年目。◆講演実績(全国11都県・今回で51回目の登壇):①神田外語英語教育公開講座・同基調講演②ELEC英語教育研修会③英語教育達人セミナー④カシオ計算機 授業に

活かす教材活用セミナー ⑤長野県高等学校 外国語研究会 ⑥啓林館 英語教育セミナー ⑦第8回 アクティブ・ラーニングフォーラム in 福島 ⑧CNN Workbook セミナー (朝日出版社) ◆授業動画: Find! アクティブラーナー 「教科横断型授業: 英語×生物~つながることのUMAMI~」他4本。◆取材・インタビュー: ①Find!アクティブラーナー ②学研プラス ③学事出版『月刊高校教育』 ④朝日出版『CNN Workbook教材活用ガイド』◆示範授業: 鳥取県立米子西高等学校 (鳥取県 「新しい学びの創造事業 『主体的・対話的で深い学び』教員スキルアップ事業」) ◆掲載原稿 (32本): ①大修館書店『英語教育』 ②啓林館『授業実践記録』 ③数研出版『CHART NETWORK』 ④三省堂『授業レポートプラス』 ⑤東京書籍「英語実践事例」 ⑥一般財団法人 英語教育協議会 ELEC 「ELEC通信」等多数。

**message** 教科等横断的な視点に立ち、言語活動を通じた読解力や語彙力などの言語能力を育成する3つの具体的指導例(英語×①生物②数学③古典)を提示します。高等学校「英語コミュニケーション」をベースに教科横断型授業による生徒の学び・気づきを参加者の先生方を生徒に見立て、授業形式でご体験いただきます。また、生徒へのパフォーマンス課題の出し方とその評価についても触れ、実際の生徒のプレゼンテーション動画とルーブリックに基づいた評価についてもご覧いただきます。最後に、どのように教科横断的な視点を実際の授業に取り入れたらよいかをわかりやすく私なりの5つの視点でまとめさせていただきます。

#### 鶴迫 貴司

東山中学・高等学校 教諭

共通テスト (学習指導要領を含む) から2次試験の 対応まで、数学的で考究的な題材を多く採り上げ セミナーを実施している。受講された多くの先生方 から「授業でそのまま利活用できる」といった声が

多く定評を頂いている。月刊誌『現代数学(現代数学社)』では、「高 校数学の脈綴り」をテーマに高校生や先生方を対象とした「学び」 のスタンダードを提唱している。大阪府生まれ。教員歴23年。

message 今年度より新学習指導要領が始まりましたが、残り2 年は旧課程に沿う形の入試です。今年のセミナーでは、新旧を問わな

い数学的な「魅力」と育てたい「力」や [評価] について、どのように授業を 構築しどのような話をもって授業を 展開しているのかを、具体的な資料 に基づき話をさせて頂ければと思っ ています。本年度も精一杯尽力させ て頂きたく存じます。



昨年の講演→



化学

数学



#### 河口 黄行

渋谷教育学園渋谷中学高等学校 教諭

渋谷教育学園渋谷中学高等学校国語科教諭。桐蔭 学園教諭、個人指導塾 「河口塾」 主宰を経て98年 より現職。17年より産業能率大学経営学部兼任講

師。学びの主体である生徒・学生が、自分の頭で考え自分の意志で 行動することのできる自立した存在になることを目ざした「対話型授 業」を実践中。授業その他、学校での活動に、コーチングの考え方 や手法をとりいれて活用している。教員・保護者向けの研修講師の活 動も多数務める。

message 一昨年は「新共通テスト」、昨年は「新学習指導要領」 という全体テーマがあり、それらと国語の授業とを関連づけてお話を させていただきました。その両者は意識しつつも、今年はより授業そ のもの、またその土台となる考え方に焦点を絞ってお話ができればと 思っています。具体的な授業の例を含むものにはなりますが、生徒た ちが主体的・対話的に学べるようになることへの支援に遡ってお話しす ることを重視するつもりです。そこで今回は「対話型授業基本編」と名 付け、特に対話型授業の経験の少ない方々に向けて、ということを 意識してお話しできればと思っています。

いです。



#### 酒井 淳平

立命館宇治中学校・高等学校 教諭

立命館宇治中学校・高等学校数学科教諭(キャリ ア教育部長)。立命館宇治中・高で文科省の指定を 受けながらキャリア教育部の立ち上げや探究カリ キュラムの開発・実践を行い、その知見を数学の授

業にも反映させようと試行錯誤しながら様々な取り組みを進めてい る。「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料 高等学校特別活動] 協力者、啓林館 (新編) 教科書執筆者。著書に 「高等学校新学習指導要領 数学の授業づくり(明治図書)」。

message 共通テスト、新学習指導要領といろいろな変化をして います。この変化の背景にあるのはどんなことでしょうか。変化の背 景をおさえれば、変化はやりたかったことを形にするチャンスになりま す。高等学校で今求められているのは授業改善に他なりません。セミ ナーでは、新学習指導要領や共通テストの変化の背景にある考え方 を確認したうえで、数学的に考える資質・能力を育てる授業づくりに ついて考えます。鍵は数学的活動であり、算数・数学の学習過程のイ メージ(図)です。オンラインにはなりますが、より良い授業を探究し たい先生方との出会いを楽しみにしています。





#### 齋藤 祐

中央大学附属中学校 · 高等学校 教諭

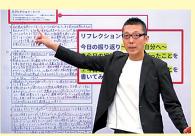
東京学芸大学卒業。2005年より中央大学杉並高等 学校教諭。2018年4月より中央大学附属中学校・ 高等学校に期限付きで異動中。三省堂高等学校国

語教科書編集委員。NHKラジオ高校講座「言語文化」・Eテレ「国語 表現」監修講師。都留文科大学非常勤講師。

message いよいよ始まった「現代の国語」をふまえて、実際の授 業内容をダイジェスト形式でお送りします。使用する教材は、押井守

「ひとまず、信じない」と、 森達也「真実はひとつじゃ ない」。どちらも、令和4 年度版の「現代の国語」教 科書教材です。実践の振 り返りを通じて、ご覧に なる先生方の、明日の授 業へのヒントとなれば幸

昨年の講演→





#### 田中 義靖

東京都立多摩科学技術高等学校 指導教諭

前任校から連続して10年間ほどSSH (スーパーサイ エンスハイスクール) 事業の主担当として高校生の 探究活動の質的な向上と国際化に関わってきた。ま

た、全国規模の化学教員のネットワークの運営や実験授業の普及に 努めてきた。6月には丸善より『「575化学実験」実践ガイド』という 書籍が出ている。さらに、思考力を養う授業の在り方を検討し、各 誌で紹介されてきた。それらの活動が評価され、日本化学会の科学 教育有功賞や日本理化学協会の協会賞などを受賞してきている。

message まず、共通テストに見られる思考力を問う問題や学習 指導要領に書かれている実験結果から生徒自らが法則などを見出す 授業について解説します。その後、令和7年度以降の入試に向けた 授業の組み立て方について「化学基礎」と「化学」の授業での実践例を ご紹介します。通常授業と演習問題を扱う授業と実験授業における 3観点の評価も踏まえた実践を具体的に提示します。視聴された先 生方が翌日に実践できるものを提供したいと考えています。



#### 奥村 暁

神戸大学附属中等教育学校 教諭

神戸大学大学院人文学研究科日本史学専修を修了後、 2013年度より神戸大学附属中等教育学校地歴科及び社 会科教諭として勤務。2014年度から2016年度まで文部

科学省の研究開発学校の指定を受け「歴史基礎」、2017年から2020年度 までは同研究開発学校指定を受け「歴史総合」の授業実践を担当。国立教育 政策研究所作成の『高等学校「指導と評価の一体化」のための学習評価に関 する参考資料』に協力者として参加。2022年8月に刊行された『つまずきか ら授業を変える!高校歴史「PDCA」授業&評価プラン』(明治図書) にも寄稿。

message いよいよ歴史総合が学校現場で始まりました。たくさ んの先生方から不安の声や戸惑いの声を聴いております。私自身、不 思議な縁もあって「歴史基礎」 時代から約7年間歴史総合の開発に関 係しました。本セミナーでは先生方の不安の声を手がかりに、本校で の実践を踏まえて、どうやって授業を構想・設計していくのかについ てお話できればと思います。「歴史総合」実践の1つの可能性をお示し できれば幸いです。

歴史総合

#### 地理総合



#### 糟谷 武志

武蔵野大学中学校・高等学校 教諭

東京学芸大学教育学部、同大学院教育学研究科社会科教育専攻修了。2020年より武蔵野大学中学校・高等学校教諭。スウェーデンへの留学経験、31ヵ

国への旅行経験を活かしながら、「世界への解像度を上げる地理」を モットーに、日々授業力向上に努める。

**message** 令和7年度大学入学共通テストから、地理歴史科では出題科目の一つに『地理総合,地理探究』が、および公民科と組み合わせた科目として『地理総合,歴史総合,公共』が設定されます。これにより、今年度から高等学校で始まった地理総合も受験科目として多くの生徒が利用することになります。今回のセミナーでは、「共通テストを念頭に置いた地理総合の授業の取り組み」をテーマとして、授業実践事例を通して、GISの活用、主体的・対話的な学習活動、新課程における評価方法などを紹介させていただきます。ご覧になる先生方にとって少しでも意義のある内容になれば幸いです。

#### 探究



#### 渡部 敦 (発表者)

宮城県仙台第三高等学校 教諭、SSH-授業づくり研究センター長

地理歴史科(世界史)。SSH事業とともに授業プログラムの開発や実践を学校全体で取り組んでおり、探究活動がカリキュラムの中心となり、探究的な学

びの手法があらゆる教科に浸透できるよう研究をすすめている。また自身の授業にもPBLを取り入れ、生徒の思考力を伸ばす授業を目指し日々奮闘している。

message 学校を取り巻く環境は大きく変化し、これまでと比べて社会とのつながりが重要視されるようになりました。生徒の興味関心は、学校だけにとどまりませんので、社会との連携は生徒の資質能力を伸ばすうえで、絶好の機会といえます。ただ、探究活動を好き勝手にやらせても思うような成果につながりません。教科や教科横断的な学びが土台に根付いているからこそ深まった探究活動が実践できるのだと思います。カリキュラムマネジメントの観点からも生徒の資質能力を育成し、かつ新学習指導要領に対応した大学入試を突破する力につなげるにはどうすればよいか、お互いに情報共有できる機会になればと思います。

# はは

## 村田淳(共同研究者)

宮城県仙台第三高等学校教諭、SSH担当

理科 (物理)。2019年4月より現職。理数科部では SSH第Ⅲ期申請を担当し、R4年度採択。探究活動を 軸にしたカリキュラム開発と、探究実践の場として尚

志ヶ丘フィールドの開発を進めている。教職歴16年。

message 仙台三高の探究活動の指導では、テーマ設定や調べ方・進め方、発表の仕方、評価、外部との繋がりなど、その都度試行錯誤しながら取り組んでいます。中でも、テーマ設定では、それぞれの生徒の興味関心が反映されるため、多様なテーマに合わせた指導の難しさを痛感しています。今回のセミナーでは、これまでに取り組んできた通常授業でのPBL (小さな課題設定・解決) や、知の博物館 (探究活動のデータベース) の整備・活用の取組について紹介させていただきます。生徒が主体的に探究活動を進められる体制づくりの一助となればと思います。



#### 山本 智也

筑波大学附属駒場中・高等学校 教諭

新潟県佐渡島生まれ。新潟明訓中学校・高等学校 教諭を経て現職。「公共」教科書執筆者(東京書籍)。 学習指導要領等の改善に係る検討に必要な専門的

作業等協力者(文部科学省)。評価規準、評価方法等の工夫改善に関する調査研究協力者(国立教育政策研究所)。現任校では、中学校社会科と高校公民科の各科目を担当。「大切だ」ではなく「面白い」で引っ張る授業づくりをモットーにしている。

**message** 様々な学習コンテンツがネットで手軽に手に入るいま、学校の授業の意義は、議論を通した思考力の育成にあるのではないでしょうか。知識を具体的な文脈の中で活用し、本当に自分のものにする授業。自分の頭で考える面白さを体感できる授業。こうした授業づくりこそ、新課程時代の大学入試への最も有効な備えではないかと思います。本セミナーでは、「公共」の本旨と共通テストの動向をふまえて、普段使いの授業をどのように工夫できるか、具体例をもとに考えていきます。実践に役立つヒントをつかみやすいように、①教材研究、②問いと学習活動のデザイン、③評価など、授業づくりを要素に分解しながら進めます。



公共



#### 木村 健太

広尾学園中学校・高等学校 医進・サイエンスコース 統括長、同学園 評議員

広尾学園では医進・サイエンスコースを設立し、生徒の主体性を軸とした研究的な学びを推進してきた。学外では、情報経営イノベーション専門職大学客員教授、特定非営

利活動法人遺伝カウンセリング・ジャパン理事、一般社団法人 STEAM JAPAN理事、内閣府総合科学技術・イノベーション会議委員、経済産業省産業構造審議会委員、同省未来人材会議委員、同省「未来の教室」委員、科学技術振興機構ジュニアドクター育成塾推進委員、東京都科学の甲子園(TOKYOサイエンスフェア)運営委員等を歴任し、中等教育における探究・研究活動の本質を多方面から追求してきた。

message 新学習指導要領が探究的な学習を重視している背景を理解し、探究において最も重要なことを共有したうえで、「探究の見方・考え方」とは?「横断的・総合的な学習」とは?「自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力」とは?これらをどのように育成していくのか?といった観点について具体的な事例を紹介しながら考えていきます。私たち教員も生徒ともにワクワクしながら探究し続けていきましょう!



#### 中野 由章

工学院大学附属中学校・高等学校 校長

1990年芝浦工業大学大学院工学研究科電気工学専攻修 了。技術士(総合技術監理・情報工学)。情報処理学会 初等中等教育委員会委員長、情報オリンピック日本委員 会理事。日本IBM大和研究所、三重県立高等学校、千

里金蘭大学、大阪電気通信大学、神戸市立科学技術高等学校を経て、2021年より工学院大学附属中学校・高等学校校長兼工学院大学教育支援機構教育開発センター特任教授。学校法人工学院大学理事。2015年情報処理学会山下記念研究賞、2016年情報処理学会学会活動貢献賞、2017年科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞、2018年情報処理学会大会優秀賞。

**message** いよいよ2022年度入学生から「情報 I」が始まりました。今までの「社会と情報」や「情報の科学」に比べて、扱う内容が格段に増えて高度化したと言われています。また、国立大学は大学入学共通テストで「情報」を原則として課すことも発表されています。一方、学校の進路指導や情報科の教員などがこの変化に対応できるのか不安視する声も聞かれます。そこで、そもそも「情報」とはどういう教科なのか、GIGAスクール構想や高大接続も意識してどのような教育を行えばよいのか、教員免許状更新講習に変わる新しい教員研修なども見据えてどのように指導力を向上すればよいのかなど、さまざまな観点からお話させていただきます。

情報



## 安河内 哲也

英語(東進)

東進ハイスクール・東進衛星予備校 講師

中学生から社会人までの英語力を劇的に向上させ ることで定評がある。著作の累計は350万部超。 検定教科書「My Way論理表現」編集主幹。各種

の教育セミナ

教育機関や、試験機関において、講演や監修等の業務を行っている。 また、文部科学省や東京都の英語教育関連審議会の委員も歴任。 iU情報経営イノベーション専門職大学客員教授・客員研究員。米国 政府認定NPO 英語評価学会理事。TOEIC試験4技能(LRSW合計) 1390点満点。

message この1年間も、顧問を務める学校や自治体、各県の教 育委員会や東進のネットワークを通じて、活動的な英語授業を促進す るための研修をたくさんしてきました。その中で初めて学校現場に放 り込まれた新任の若者達や、急に活動型授業を始めることになった 先生方をたくさんお手伝いしてきました。具体的にどのような問題が 発生したのか? そしてそれをどのように解決してきたのか? 具体的に お話しします。実際の現場の動画を用いて、活動型授業のポイントを

伝えます。 2学期からの授業に向 かって、元気とやる気がチャージ できる内容にしたいと思います。 ぜひふるってご参加ください。



### 正司 光範

推薦入試(東進)

東進ハイスクール・東進衛星予備校・早稲田塾 講師

推薦入試合格者日本一の予備校 「早稲田塾」 (東進 ネットワーク) で、多数の合格者を輩出してきたスペ シャリスト。学問的センスを高め、科学的思考力を身

につけるアカデミックな方法論により、推薦入試(総合型・学校推薦型 選抜)から小論文・総合問題まで、新しい入試を突破する力を養成する。 学生時代には、外務省プレゼンカップで最優秀の外務大臣賞、学部長 賞を二年連続受賞。大学院博士課程で最も優秀な学生に与えられる「ヤ ングリーダー奨学金」対象に選抜。その他職歴として、大阪大学や慶 應義塾大学における講師 (国際関係論)、内閣府の研究会で研究員な ど。NHK・Eテレ『ニュー試一世界の試験で未来が見える一』出演。

message 今回の講演では、推薦入試を取り巻く現状と、推薦入 試でどのように指導すべきかについてお話しさせていただきます。推 薦入試には誤解が多く、「学力軽視」などとの批判も多く聞かれます。 しかし、それは実態とはかけ離れています。本来、推薦入試は、総 合的な学習(探究)などと同様、高大接続改革の一環として位置づけ られるものです。各試験では、受験生が主体的な学びを実践できる か、その大学・学部で学ぶ上で必要な高い学力を有しているかが鋭く

問われます。小手先のテクニックで、見栄えの良い書類を作る。面接でのやり過ごし方を学ぶ。そんなことが本来の指導 ではないはずです。法学部であれば、法律学や政治学。文 学部であれば、哲学や史学、文学など。自らの知識や技能を 活用して、課題を発見し、解決に向けて探究する。こうした 新しい学びを実践できるかが合格のカギになります。 推薦入試の現場についてご紹介できれば、幸いです。

安河内先生、正司先生の講演紹介映像も公開中!

#### トップリーダーと学ぶ ワークショップ

東京大学大学院 薬学系研究科 教授

テーマ:脳が秘める力

講演内容 池谷先生は、神経科学および薬理 学を専門とし、海馬や大脳皮質の可塑性を研

究されています。可塑性とは「何らかの情報によって脳が変化し、 その変化がしばらく留まること」を意味します。記憶も可塑性の一 つであり、知らない状態から知っている状態への変化と捉えられま す。変化し続ける脳が秘める潜在能力は、一体どれほどのものなの でしょうか。脳はどこまで開拓できるのか。この問いに答えを出す ため池谷先生は、『脳AI融合プロジェクト』に取り組んでいます。脳 科学とAI、その融合や研究についての話から始まり、脳科学に基づ く記憶のメカニズム、脳力の引き出し方までが展開されたオンライ ン講演の様子をお伝えします。

#### 未来発見講座



テーマ:空の移動革命への挑戦 ~日本発 空飛ぶクルマと物流ドローンの開発~

講演内容 「空飛ぶクルマ」を実用化すること で、人々の生活をもっと便利にもっと楽しくする

ために、仲間と会社を設立し、大学や政府や地域と協力しながら研 究開発・製造を牽引しているのが福澤先生です。先生は小さい頃から 「ドラえもん」が好きで、「どこでもドア」「タイムマシン」「タケコプター」 のうち、今の技術で実現できるのはタケコプターだと思ったそうです。 また、小4のときに「モーターを作る」実験でモノが動くしくみを知り、 ものづくりに興味が湧き、そうした経験が今の仕事に繋がっています。 「空飛ぶクルマをつくりたい!」と思ってから、これまで取り組んでき たことや今後の展望、そして学生へのメッセージについて、様々な映





高等学校の先生対象 新学習指導要領と大学入学共通テスト ~令和7年度以降の入試に向けた、授業の組み立て方と評価について~

像も交えてお話しいただきます。

お申し込みはウェブへ

夏の教育セミナー



10(水)~31(水) mmer-seminar.com

🔍 検索 🔀